

平成23(2011)年2月19日第81号

学校だより

学習参観が終わりました

2週間にわたって開催された学習参観が終わりました。前回の参観が5月でしたから、ほぼ、10ヶ月経過していることとなります。保護者の皆様はわが子の成長を確認できたでしょうか。

〈心身の成長〉

幼稚園部、小学部、中高等部ともに精神的変容や身体的成長は目を見張る物があります。特に、低年齢であればあるほど、身体の発達度合いが大きいかと思えます。一方、思春期前期から中期にさしかかる中高等部等の高学年ほど、心理的変容が大きくなっているかと思えます。

〈青春前期～中期〉

学校での様子について、今まで事細かに話してくれていたのが、段々と少なくなったり、問いかけても納得のいく声を聞くことが出来なくなったりするものです。これらの傾向は、自立への助走状態にあるとも言えます。時には、悶々とした状態になることもあります。保護者の皆様にありまして、殆どがこの時期を乗り越えてきたと思えます。

生まれてから後に形成された諸々の価値観に疑問を持ったり、思うように物事がすすまなかったり、何をしたらよいのか自問しても回答が見つからなかったりする時期です。特効薬はないかも知れませんが、家族の方は特段の配慮をせず、いつもと同じように接すればよいと思えます。ただ、人生を語る事が大切です。それも、わが子の現状に注文を付けるのではなく、保護者が自分の人生観や現在に至る間に発生した生き方・在り方における分岐点での決断の時などについて、淡々と語ることをお勧めします。

親と子どもは同年齢ですが、人生の先輩なのです。思いやりの心や、夢や希望を育む営みのお手本は、身近な存在としての保護者の生き方・在り方にあります。

〈もうすぐ、卒業式、修了式〉

新年には「一年の計は元旦にあり」として、目標を立てたことだと思えます。

補習校での学習活動においては、3月末に一年の総決算をして、新年度に向けた目標をしっかりと立てていただきたいものです。

「始めよければよし、終り良ければ、なおよし」の言葉もあります。確実に自分を見つめ直しましょう。

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077
Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火～金曜日)
Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

学習参観の授業から

5年B組では、「1日の中で行う学習・宿題の仕方」についての話し合いの学習が展開されました。その授業の様子を書いた作文を紹介します。

「話し合いをへて」

小5B 大原拓海 (岡崎学級)

先週2月5日、ぼくたち5年B組は授業参観で、「1日の中で行う学習の仕方」について話し合った。それぞれのはんが結果を教え、それぞれの項目の合計で、「いつ、どこで、だれと、どれくらい」などを話し合った。それぞれの項目で一番多かったのは—

- ・(いつ) 日曜日・・・12票
- ・(どこで) 自分の部屋・・・9票
- ・(だれと) 一人で・・・7票
- ・(どれくらい) 日によってちがう・・・12票



と、いう結果になった。このようなことから、多くの人は、時間があるときに、静かな場所で、単独に学習することが分かった。

このような結果から、ぼくは色々な人達の勉強方法のよい所を取り入れて、それをこれからの学習に生かしていきたいと思いました。

「失敗をめぐって」

小5B 岡崎公士朗 (岡崎学級)

今回の学習・宿題のしかたの話し合いで、みんながどういう風に宿題をしているのか、よく分かりました。

あと宿題をやる時、みんながどんななやみがあるのか、よく分かりました。みんなも案外手こずっているんだなと思いました。

ぼくもよく金曜の夜に宿題をやっています。いつもやっている時に、「宿題が少なくなんないかな」と思います。遊べる時間があまりなく、いやだなと思う時もあります。でも今回、言いたい事ははっきり言えてスッキリしました。たまに、「宿題なんか大きらいだ」とさげびたい時もあるけど、やっぱり、やんなきゃいけないなと思います。

いつかぼくも働かなきゃいけないと思ったら、なまけているひまがありませんよね？やっぱり、がんばらなきゃと思いますよね？現地校も補習校もどっちもがんばらないといけませんね。

新入園・新入学の面談から願うこと

1月29日(土)、新入園希望の園児、新入学希望の児童と面談が行われました。昨年度とほぼ同数の希望者が参加しました。

午前中は、新たに新1年生に入学を希望する児童と現在、幼稚部に在籍する数名と面談しました。午後は幼稚部に入園希望する子どもたちでした。

面談は、日本語での会話がキチンと出来るかどうか基準を設定し行われました。保護者の皆様が既に認識されているように、本校の教育目標は「日本語のできる子どもに国語力、数学の基礎的知識を身に付けさせ、より一層国際的感性を高める」と定めています。

また、JEIH 補習校運営委員会委員長記載の「ヒューストン日本語補習校とは」(学校要覧参照)の中で、「本校は日本政府の海外子女教育推進策に基づき、児童生徒を対象に日本語による教育の機会を提供して、帰国した場合にも日本の学校教育や生活への容易な適応を促すこと(いわゆる「ソフトランディング」)に加え、国際的な感覚や視野の育成を目的として、家庭教育との連係を図りながら教育推進を行っています。」とあります。

子どもたちや保護者の皆様が、本校の教育に寄せられる期待や願いを、私たちがしっかり受け止め、上記の目標達成を共に実現していくことが大切なのです。

私たち教職員は、お子様が入園・入学された以上は、現状の教育環境において最高の教育を展開し、それらの期待に応えるべく尽力していく所存です。

そこで、委員長の記載文にもあるように「家庭教育との連係」を大切にしたいと思えます。1週間に1回の授業、年間でも約40数回しかない補習校の授業の中では、日本と同様な教育課程は編成できないのです。しかし、私達は国語、算数・数学においては日本の子どもたちに後れをとることなく、むしろ先行すべく存在にしたいとさえ願い、教育実践を展開してきました。子どもたちへの指導に当たっては、宿題の完遂はもとより、1時間1時間の授業に対する心構えや、集中力の育成、発表力や表現力の育成、知識理解の深化を促進すべく研究授業も精力的に展開してきました。

各ご家庭にありましては、私たちの営みに十分に呼応され、精力的に家庭教育の充実に尽力されてきたわけですが、今後とも担任・学校との連係を密にされ、子どもたちにより良い教育を提供していきたいと願っています。

週1回、日本語補習授業校に通学・通園させておけば、日本語力や学力が容易に身に付くなんて事はありません。私達は、本校の掲げる教育目標の具現化に向けて、学校と保護者が理解を深め、「学びたい学校、学ばせたい学校、学んでよかった学校」創造に向け、日々、新たな気持ちで臨みたいと思えます。

慶應ニューヨーク学院 補習校対象指定校推薦制度説明会

この度、慶應 NY 学院では、補習授業校を対象にした「指定校推薦制度」を創設し、その指定校に本校が選定されました。新しい制度であり、同学院の先生に来ていただき、制度の内容等について説明をいただく機会を下記の通り設定しました。一応、**中学部保護者対象ですが、小学部保護者で関心のある方の参加も可能です。尚、この説明会は、次年度以降、例年開催されるものではありません。**

日程 平成23年3月5日(土)

午前9時15分～10時45分

場所 補習校図書室

講師 慶應ニューヨーク学院 野津将史先生

・・補習校日本庭園の整備ボランティア案内・・

標記のボランティア案内が届きました。日程は下記の通りです。本日19日(土)と、次週の26日(土)の2日間でしたが、当方に連絡があったのは、今週に入ってからでした。本校の園児、児童生徒達が昼食後のひとときを楽しくすごしている場所です。時間がありましたらご協力のほどお願い致します。

日程 2月26日(土) 午前10時～午後2時

場所 補習校日本庭園

備考 軍手、日よけの帽子、飲み水、昼食各自持参

◆パトロール当番予定表2月26日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小6	26	坂本和真
2		28	三浦治樹
3		30	中邑勇介
4		31	ロバーツジュニア
5		32	副田海斗
6		34	大瀧萌々花
7	中1	1	赤松和紀
★PM1リーダー	中1	2	浮田 耀
2		3	野口優花
3		4	武正 隼
4		5	山本寛士
5		7	河内愛奈
6		8	古川雄喜
7		10	杉谷銀治

転入 出崎日奈笑(小6B)

転入を心から歓迎します。ヒューストンでの日々が快活で有意義なることを期待しています。

